

富士フイルムホールディングス株式会社
2022年3月期 決算説明会
主な質疑応答

Q: 新たな経営指標である ROIC、CCC の導入効果を教えてほしい。

A: 当社は、事業ポートフォリオの最適化を進めるに当たり、従来の 14 事業での単位から 6 つの事業グループ単位での意思決定を行っている。その中で、ROIC、CCC は各事業の収益性や成長性、戦略適合性等の検証に役立っている。また、現場におけるキャッシュ創出への意識が高まっており、特に CCC の活用により、オペレーションを強化することでキャッシュを生み出せるという現場の理解とその実践が進んでいる。

Q: 第 4 四半期におけるメディカルシステム事業の生産・販売の状況を教えてほしい。

A: 半導体等の部品供給の制約を一部受けたが、取引先からの的確な情報収集や、従来から継続してきた汎用部品の活用などにより、供給を切らさずに生産ができた。販売では、新型コロナ影響を受けるも、想定以上に機器の設置・検収が進んだ。特に内視鏡が好調を維持し、通期の売上高が前年比 35%増と大きく伸長した。

Q: バイオ CDMO 事業の 2025 年 3 月期売上高目標 2,000 億円達成に向けたロードマップを教えてほしい。

A: 2023 年 3 月期の売上高は、前年からの成長率 10%程度を見込んでいる。2025 年 3 月期まで、バイオ CDMO の市場成長率と同等である 10%成長を継続させれば、2,000 億円の売上高に到達する。この数値は手堅く達成する確信があり、上振れの余地もあると見ている。

以上